

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム

～人と地域が共に育ち合い、自立した地域社会を実現～

中長期計画

平成 29（2017）年度～平成 33（2021）年度

平成 29（2017）年 10 月 30 日

目次

基本理念	P3
1. 豊田市及び豊田市高等教育のそれぞれの現状と課題	P4
2. ビジョン・目標と取組内容	P11
3. ロードマップと実施体制	P23

※本中長期計画の内容について、平成29年度に策定した当初計画から平成30年度に変更となった文章は赤字で表記した。(図やグラフ等を変更した場合は、その旨、文章により赤字で明記した。)

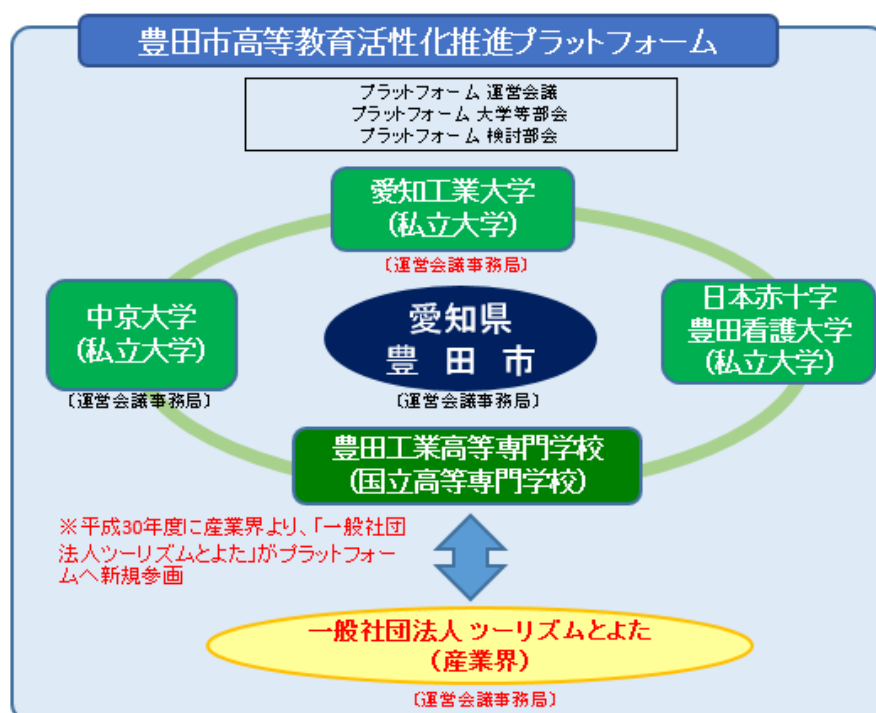
基本理念

「高等教育機関と豊田市・産業界の連携強化により、
人と地域が共に育ち合い、自立した地域社会を実現」

少子高齢化が進む中で、豊田市において今後、地域社会を活性化し、魅力ある地域にしていくことが大きな課題となっています。特に高等教育機関である大学等においては、今後18歳人口の急速な減少により、様々な影響が予測されていますが、その対応が喫緊の課題となっています。このような状況下において、今回、豊田市に所在する私立大学（愛知工業大学・中京大学・日本赤十字豊田看護大学）、国立高等専門学校（豊田工業高等専門学校）、地方自治体（豊田市）、産業界が連携することによって、これらの課題に取り組むためのプラットフォームを形成することになりました。平成30年9月には、地元産業界より、「一般社団法人ツーリズムとよた」が新たに参画することになり、観光をはじめとする地域振興の活性化がより強化されることが期待できます。

本プラットフォームの特徴は、「ものづくり」をはじめとする地域の特性を踏まえ、大学、高等専門学校、地方自治体、産業界がそれぞれの得意分野を活かして連携・協力して様々な取組みを行うことにあります。それらの取組みにより、有能な人材の育成と地域社会での活躍を促し、地域社会の発展に寄与するものと考えます。本プラットフォームではその目的を達成するために、現状分析、課題・目標、具体的な実行計画を中長期計画にまとめました。

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム運営会議 体制図（平成30年度より産業界が加わったため、体制図を一部変更し、以下の体制図とした。）



1. 豊田市及び豊田市高等教育のそれぞれの現状と課題

1.1 豊田市の状況

以下の内容については、全て「Web 統計とよた（豊田市）」及び「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」から抜粋

（1）基礎データ

図表 1-1 豊田市の面積・人口・世帯数・大学等数のデータ

（平成 29（2017）年 10 月 1 日現在）

面積	918.32 k m ²		
人口	425,718 人		
世帯数	178,034 世帯		
大学数	4 校（短期大学数は 0 校）		
高等専門学校数	1 校		
人口構成	性別	男	222,457 人
		女	203,261 人
	年齢階層別	65 歳以上	95,881 人
		15～64 歳	271,561 人
		0～14 歳	58,276 人

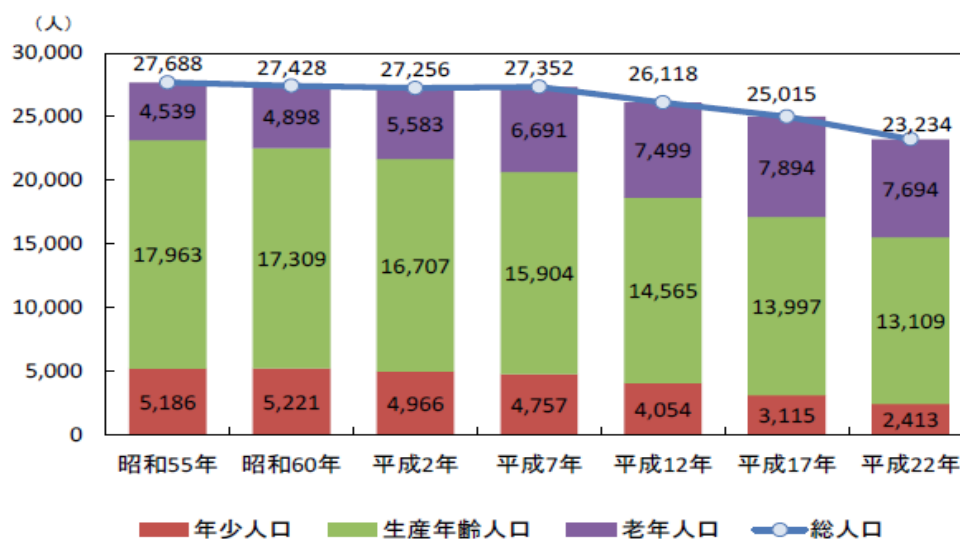
「Web 統計とよた」（豊田市）より抜粋

（2）豊田市の人口動態と産業

①豊田市山村部の総人口及び年齢 3 区分別人口推移

山村地域においては、豊田市の総人口が増加傾向にある一方で、人口は減少しており、市全体とは異なる特徴や地域特有の課題を有している。

図表 1-2 豊田市山村部の総人口及び年齢 3 区分別人口推移



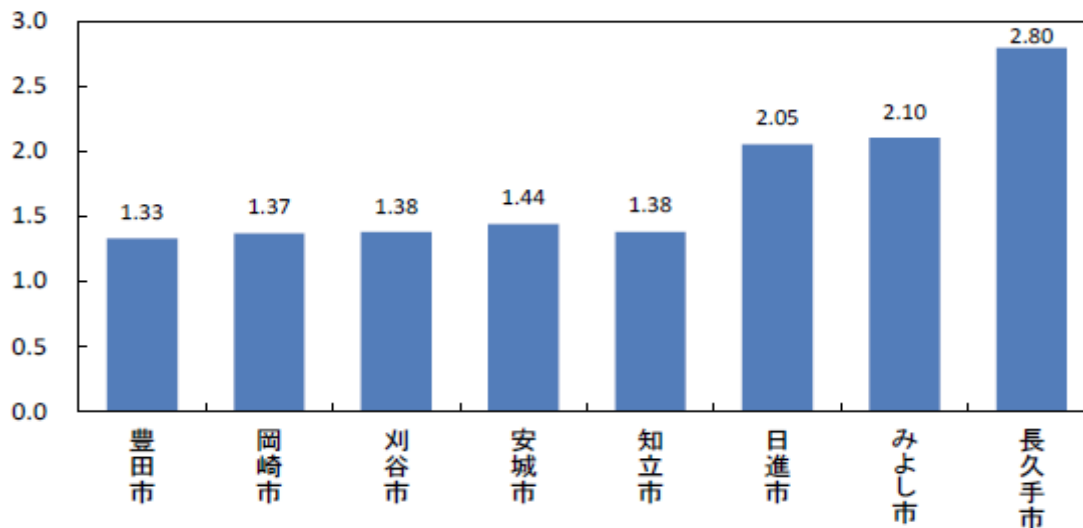
「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」より抜粋

②豊田市とその周辺の総人口の増減

総人口の昭和 55（1980）年に対する伸びは 1.33 と、豊田市に隣接する周辺市と比較すると、最も低くなっている。なお、日進市、みよし市、長久手市は昭和 55（1980）年に対する伸びが 2 を上回っている。

図表 1-3 豊田市とその周辺の総人口の増減

（昭和 55（1980）年=1 とした平成 22（2010）年人口）



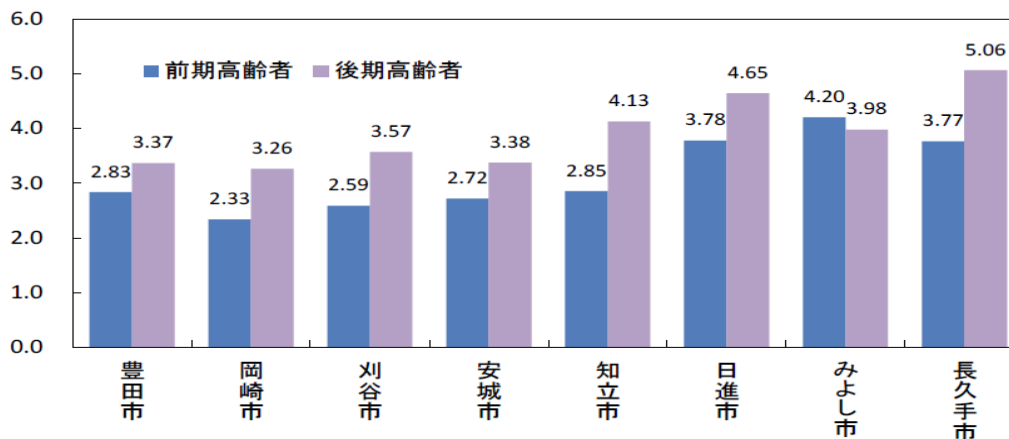
「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」より抜粋

③高齢者人口の増減

高齢者人口の増減は、前期高齢者（65～74 歳）の昭和 60（1985）年に対する伸びが 2.83、後期高齢者（75 歳以上）の昭和 60（1985）年に対する伸びが 3.37 であり、いずれも知立市や安城市と同様の傾向である。

図表 1-4 豊田市とその周辺の高齢者人口の増減

（昭和 60（1985）年=1 とした平成 22（2010）年人口）

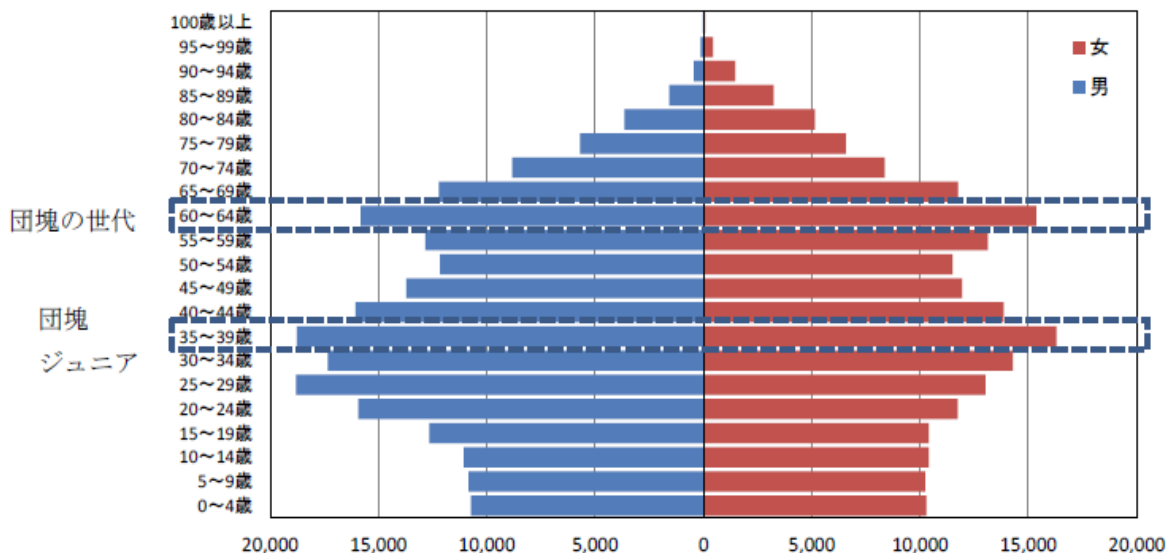


「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」より抜粋

④豊田市の男女別5歳階級別人口

20代後半から30代の男性人口が多い点が特徴である。また、団塊の世代よりも団塊ジュニアの方が人口に占める割合が大きくなっている。

図表 1-5 豊田市の男女別5歳階級別人口

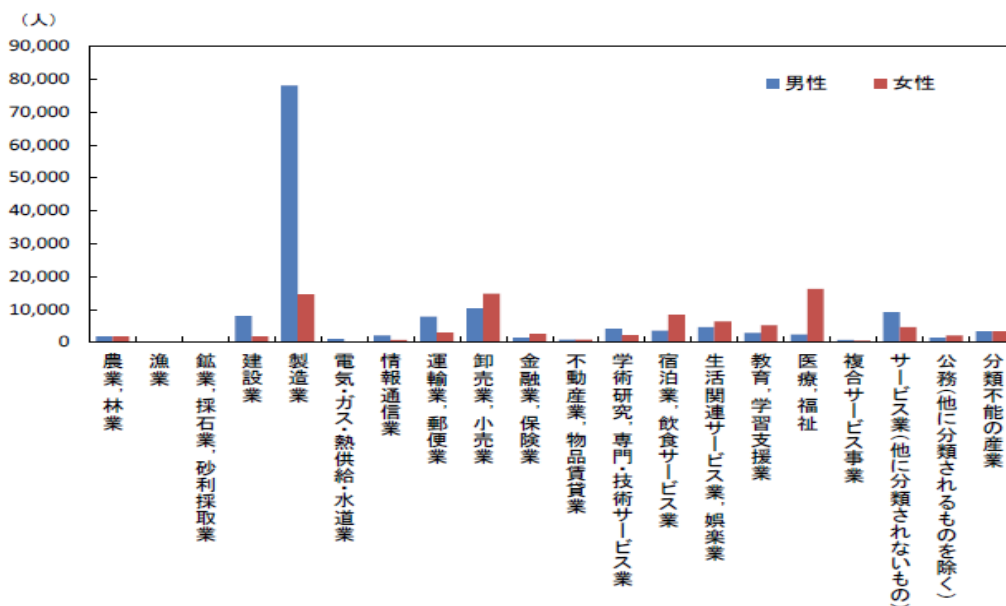


「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」より抜粋

⑤産業分類別男女別就業者（有業者）数

男性は製造業での就業が多く、突出している。次いで、卸売業、小売業やサービス業（他に分類されないもの）の順である。一方、女性は医療、福祉での就業がもっとも多く、次いで卸売業、小売業、製造業の順である。

図表 1-6 産業分類別の男女就業者（有業者）数



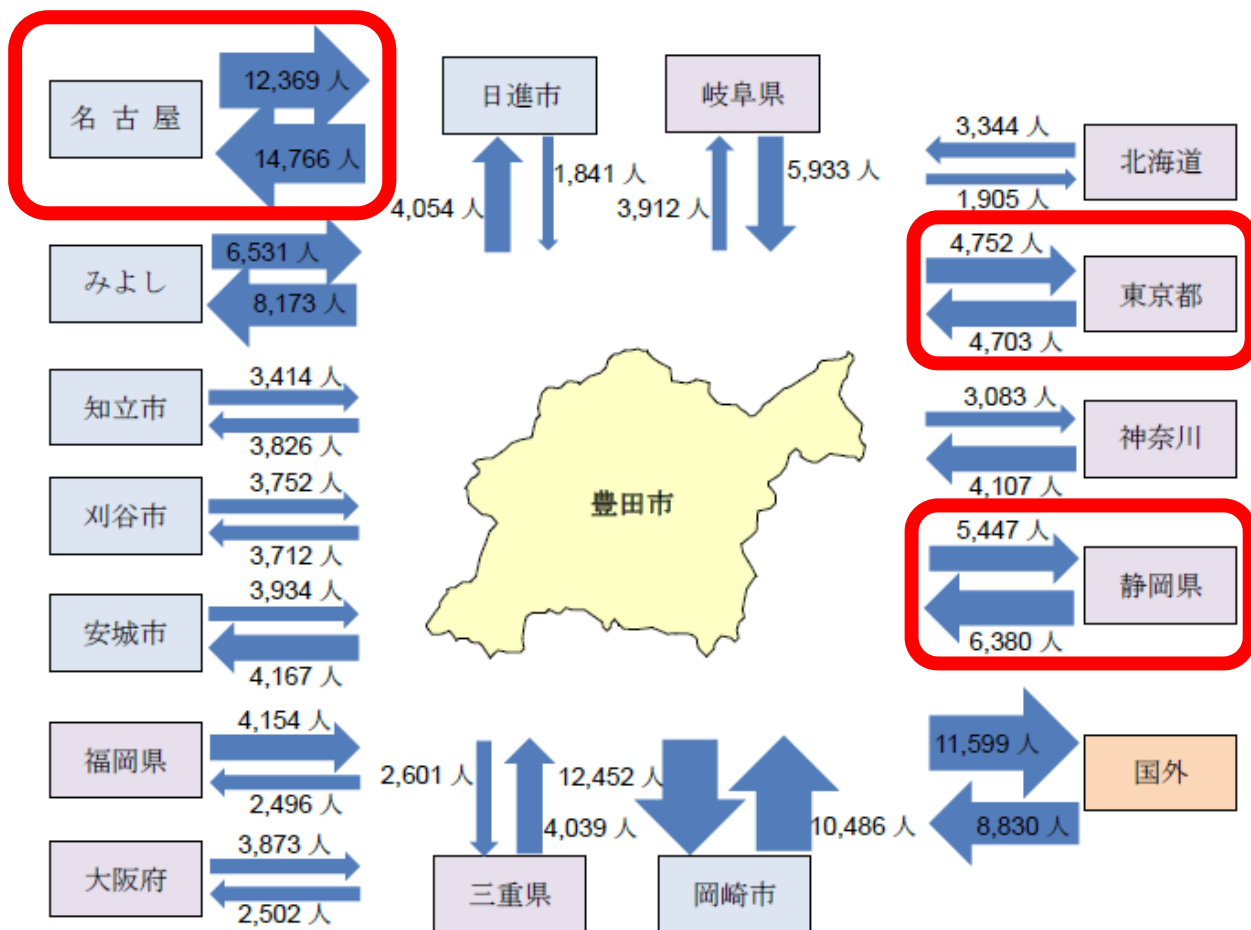
「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」より抜粋

⑥周辺市及び県外との間での転出入者数

平成 17（2005）年度から平成 25（2013）年度の市の転入者数をみると、県内では名古屋市が多い。県外では静岡県、東京都などからの転入が多い。転出者数は県内では名古屋市が多く、県外では静岡県、東京都の順である。

図表 1-7 周辺市及び県外との間での転出入者数

	県内他市	国内県外	国外	不明	合計
転入者数	64,409	69,557	8,830	682	143,478
転出者数	73,688	47,061	11,599	11,704	144,052



「豊田市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 平成 28（2016）年 3 月）」より抜粋
 ※平成 17 年（2005）度から 25（2013）年度までの異動累積人口

1.2 豊田市の地域特性と課題

上記「1.1 豊田市の状況」で示したデータを踏まえ、本プラットフォームでは豊田市の地域特性と課題を以下のように捉えている。

日本全体が人口減少社会に移行する中、豊田市は本格的な自動車産業の集積地として 40 万人都市に発展をしてきた。しかし、今後は、豊田市においても超高齢社会の到来や人口減少局面を迎えるなど人口構造の大きな変化が予測されており、産業面においても国内市場の

縮小などによる構造変化といったリスクも存在する。各種人口データでも示したとおり、豊田市の人口は、自動車産業の拠点性の高さから就職期にある 20 歳前後の若者が全国から集まる一方、家族形成期にある 30 歳前後の世代が県内他市に転出している。こうした中、豊田市が将来にわたって市民生活や地域を支える活力を維持していくためには、急激な人口減少を回避するとともに、バランスのとれた世代構成への転換を図ることが必要である。その実現に向けては、一定の人口吸引力を維持するため、産業で日本を牽引する都市として、社会の変化に対応しながら強い産業を維持することが必要である。また同時に都市と山村地域が近接・共存する特性を生かし、観光振興や多様な暮らしの実現のみならず新たな産業を生み出すことで、国内外や市域内を含めた新たな人の流れや循環をつくる必要がある。

このことを踏まえ、本プラットフォームでは、若者が豊田市で暮らし、世代を超えて住み続けたいと思うまちの実現を目指し、「人と地域が共に育ち合い、自立した地域社会を実現」という基本理念を設定している。

以上のことから、本プラットフォームでは、豊田市の地域特性と課題を以下のとおり整理した。

【豊田市の特性】

○世界的な自動車企業と共に発展してきた都市

- ・自動車産業の生産拠点が集積
- ・日本全国から就職期の若年層を吸収し、全国よりも若い年齢構成

○豊かな自然、多様な歴史・文化を持つ都市

- ・文化・スポーツなどの公共施設は質、量とも充実し、世界的イベントも開催
- ・名古屋市との程よい距離感を保ちながら独立した生活圏を形成し、一方で名古屋市を中心とした大都市圏の一部として、必要に応じて都市的サービスを楽しむ

○多様で充実した担い手を有する 40 万人都市

- ・企業が多数存在
- ・大学や高等専門学校などの学生によるまちづくり活動展開
- ・ビジネス関係含む外国人市民の存在

【豊田市が抱える課題】

○超高齢社会の到来

- ・若年層の流入人口の減少

○産業構造の大転換

- ・自動車産業の国内市場の縮小

○大規模自然災害

- ・南海トラフの巨大地震

1.3 豊田市の高等教育の現状

豊田市には、大学4校、高等専門学校1校が所在し、そのうち80%を占める4大学等（愛知工業大学、中京大学、豊田工業高等専門学校、日本赤十字豊田看護大学）で今回のプラットフォームを形成する。プラットフォームを形成する4大学等においては、幅広く6つの学問分野を有し、特に「ものづくり」の拠点である豊田市において、「工学」「情報」分野が充実していることが特徴である。また、上述した産業分類別データでは、医療分野に就業する女性の数が比較的多いことを示していたが、本プラットフォーム形成大学等には、看護学分野があるため、地元の医療施設等への就職促進と地域医療現場のさらなる充実を図ることが可能となる。さらに、4大学等のうち、半数の2大学が健康・スポーツ分野を有しており、地域住民の健康・スポーツの促進に寄与することを目指している。なお、愛知工業大学と中京大学においては、名古屋市にもキャンパスを構えており、人文系・社会科学系の幅広い学問分野のリソースを豊田市の課題解決のために、活用することも可能である。

図表 1-8 豊田市高等教育活性化推進プラットフォームの学術分野マップ

	工学	情報学	経営学	社会学	看護学	健康・スポーツ科学
愛知工業大学	工学部 ○電気学科 ○応用化学科 ○機械学科 ○土木工学科 ○建築学科	情報科学部 ○情報科学科	経営学部 ○経営学科			経営学部 ○経営学科
中京大学	工学部 ○情報工学科 ○メディア工学科	工学部 ○情報工学科		現代社会学部 ○現代社会学科		スポーツ科学部 ○スポーツ健康科学科 ○競技スポーツ科学科 ○スポーツ教育学科
豊田工業高等専門学校	○電気・電子システム工学科 ○機械工学科 ○情報工学科 ○環境都市工学科 ○建築学科	○情報工学科				
日本赤十字豊田看護大学					看護学部 ○看護学科	

図表 1-9 プラットフォーム形成大学の学生数等の状況

(人)

大学等名	年	収容定員	学生数		
			男	女	計
愛知工業大学 ※1	2017年	5,072	5,380	721	6,101
	2016年	4,957	5,371	647	6,018
	2015年	4,957	5,508	599	6,107
中京大学 ※1	2017年	11,764	7,878	4,972	12,850
	2016年	11,699	8,122	4,995	13,117
	2015年	11,604	8,136	4,980	13,116
豊田工業高等専門学校 ※2	2017年	1,000	911	206	1,117
	2016年	1,000	948	195	1,143
	2015年	1,000	952	179	1,131
日本赤十字豊田看護大学	2017年	504	52	528	580
	2016年	502	55	524	579
	2015年	500	49	522	571

※1 愛知工業大学と中京大学は豊田市以外に所在するキャンパスの定員・学生数も含む。

※2 豊田工業高等専門学校は、本学科のみ(専攻科を除く)の定員・学生数である。

1.4 豊田市の高等教育の課題

豊田市と豊田市及びその近隣にキャンパスを置く大学等においては、平成27(2015)年度に包括連携協定を締結した。協定締結以降、豊田市と個々の大学等は相互の取組分野において、協力体制、規模等を拡大してきた。一方で豊田市に対して、大学等連携による高等教育機関のリソースが十分に活用されてこなかったことも現状である。今後は、豊田市と大学等及び大学等間が相互に補完し、連携をより強化することで、豊田市の課題である「地元就職の促進」「健康意識の醸成」「学校教育活動の支援」「ものづくり事業のさらなる展開」「スポーツ活動の促進」等に取り組むことが高等教育機関に求められている。

2. ビジョン・目標と取組内容

前項の現状分析と課題を踏まえ、本プラットフォームを形成することにより豊田市と豊田市にキャンパスを設置する大学等間の連携をさらに強化し、豊田市の高等教育を活性化するため、次のようにビジョン・目標を掲げて中長期計画を推進する。

2.1 ビジョン

プラットフォームを形成する高等教育機関のリソースを有効活用し、豊田市の地域課題である「郷土愛の醸成」や「地元就職の促進」、「健康意識の醸成」、「スポーツ活動の促進」を始めとした12の課題とそれに対する50の取組みを行うことで、地域の課題解決と豊田市の将来計画である「第2次地域経営戦略プラン」や「2019ラグビーワールドカップ(豊田市開催)」に向けて「人と地域が共に育ち合う環境づくりに寄与する」ことを本プラットフォームの将来ビジョンとして掲げる。

《人と地域が共に育ち合う環境づくりに寄与する》

- ① 郷土愛の醸成
- ② グローバル意識の醸成
- ③ 地元就職の促進
- ④ 健康意識の醸成
- ⑤ 防災意識の醸成
- ⑥ 環境教育の推進
- ⑦ ボランティア活動の推進
- ⑧ 地域学習支援の推進（学校教育活動支援）
- ⑨ ものづくり事業の更なる展開
- ⑩ スポーツ活動の促進
- ⑪ 生涯学習の推進
- ⑫ プラットフォーム形成組織の連携強化

2.2 目標と取組内容

中長期計画における推進する事業全体の目標として、実施期間を平成 29 (2017) 年度から平成 33 (2021) 年度の 5 か年とし、年度毎の取組件数を平成 28 (2016) 年度の取組実績 (121 件) の水準以上実施することとし、各課題の目標及び取組内容、活動指標は以下のとおりとする。

※以下、目標と取組内容について、平成 29 年度に策定した当初計画から平成 30 年度に変更となった箇所は赤字で表記した。(特に取組内容については、具体的内容、取組方針、実施時期、実施体制等について、赤字で追記した。) また、各取組内容のタイトルを分かりやすくするため、赤で下線を追記した。

※平成 30 年度に追加した取組については、各取組項目のタイトルの後ろに括弧書きで「(平成 30 年度追加取組)」と赤字で表記した。

① 郷土愛の醸成

目標①-1		教員の知見を活用したまちづくりへの参画機会の向上
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>「大学・高専発研究」への提案と実現</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市をフィールドとし、大学等の知見や教員の研究成果を活用したまちづくりに関わる政策（研究）の提案と実現</p> <p>○実施時期・期間等： 4～5月：提案募集、7月：選考・採択、8月：委託契約、9月：事業開始、翌年3月：事業完了</p> <p>○予算：100万円</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等</p>	<p>提案数 3 件以上/年</p> <p>実現数 1 件以上/年</p>

目標①-2		学生のまちづくりへの参画機会の向上
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>「学生によるまちづくり」への提案と実現</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市の都心・中山間地のフィールドを活用するために、学生の視点を活かした魅力あるまちづくりの提案と実現</p> <p>○実施時期・期間等：5～6月：提案募集、7月：研修（アイデア出し）、研修（マッチング・企画）、8月：研修（企画提案）、10月：事業開始、翌年1月：実施報告、学生交流</p> <p>○予算：10万円/チーム</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等</p>	<p>提案数 3 件以上/年</p> <p>実現数 1 件以上/年</p>

目標①-3	豊田市に関する情報発信を行う	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>ガクレポ！</u>（「広報とよた」掲載のコーナー）での情報発信</p> <p>○具体的内容等：大学生にレポーターとして紙面に登場してもらい、事業やイベント、公共施設、講座など、様々な現場取材して、感想を交えながら紹介する。</p> <p>○実施方針：平成30年度は、公募方式に変更する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等</p>	5回／平成29(2017)年度

目標①-4	市政への参加意識を醸成する	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>大学構内に期日前投票所を設置</u></p> <p>○具体的内容等：地域住民の利便性を高めるとともに、学生の市政への参加意欲や関心を高める。</p> <p>○実施時期・場所等：選挙ごとに必要に応じて豊田市から大学側に要請し、中京大学豊田キャンパスを利用する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学</p>	選挙回数

目標①-5	観光PRの促進による地域活性化の実現	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>観光PRの促進のため、産業界を交えた協議（平成30年度追加取組）</u></p> <p>○具体的内容等：主に観光情報の収集・発信を行う「一般社団法人ツーリズムとよた」と連携し、定期的な協議を行う。（平成30年度からの新規取組みである。）</p> <p>実施会場等：毎回の協議の場所は豊田市役所を予定している。</p> <p>実施体制（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等、一般社団法人ツーリズムとよた</p>	1回以上／年

② グローバル意識の醸成

目標②	2019ラグビーワールドカップ豊田市開催に向けての普及活動を実施	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>ワールドカップ豊田市開催に向けたPR活動支援</u></p> <p>○具体的内容等：2019ラグビーワールドカップ豊田市開催に向けた大学祭でのPR活動支援</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、愛知工業大学、中京大学</p>	2回／年

2	<p><u>会場案内等のボランティア活動を通じて、グローバル意識を醸成</u></p> <p>○具体的内容等：2019 ラグビーワールドカップ豊田市開催を見据え、フェスタ等の各種イベントにおいて会場案内等のボランティア活動を通じて、グローバル意識を醸成する。</p> <p>○場所等：豊田スタジアム、駅前おもてなしエリア 等</p> <p>○具体的内容等：会場案内、ラグビーブース運営補助</p> <p>○取組方針等：2019 年ラグビーワールドカップ（9～10 月）開催後に事業終了予定</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、愛知工業大学、中京大学、日本赤十字豊田看護大学</p>	1 回以上／年（平成 31（2019）年度まで）
---	--	--------------------------

③ 地元就職の促進

目標③	各大学等の強みを活かした就職支援の他、インターンシップを通じた豊田市への就職等、地元就職を促進する	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>豊田市の医療施設への就職を促進するために就職説明会を開催</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：就職説明会を開催することにより、本学学生を豊田市の医療施設へ少しでも多く就職を希望するよう推進する。</p> <p>○実施時期・期間等：毎年 4 月の入学式終了後実施予定</p> <p>○目標等：年間 1 回以上の開催</p> <p>○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学</p>	1 回以上実施／年
2	<p><u>豊田市役所へのインターンシップ</u></p> <p>○具体的内容等：まちづくり、農業、環境、産業振興、福祉、技術、保育、消防、防災など、多岐にわたる豊田市の業務について、インターンシップを通じて体験。例えば、豊田工業高等専門学校では、学生の夏季休業期間（平成 30 年 8 月 3 日～9 月 21 日）に 1 人 10 日間程度実施する。実施後は報告書の作成及び発表を実施させる。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、愛知工業大学、中京大学、豊田工業高等専門学校</p>	インターンシップ参加者 5 名以上／年
3	<p><u>豊田市職員採用支援（試験会場の提供協力）</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市の職員採用活動に大学が協力することで、効率的に採用試験を実施。</p> <p>○時期・会場等：採用試験時に必要に応じて要請し、中京大学豊田キャンパスを利用</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学</p>	1 回／年

4	<p><u>豊田市「学生とハタラクをつなぐプロジェクト」の活動支援</u></p> <p>○具体的内容等：大学生と地元企業の若手社員との懇談の場を設け、地域の魅力に気づいてもらうとともに、社会人との関わりの中で「ハタラク」ことの意義や価値について学ぶ。</p> <p>○会場等：市内企業、公共施設</p> <p>○定員：30名</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、愛知工業大学、中京大学</p>	3回以上/年
5	<p><u>トヨタ自動車へのインターンシップを実施（平成30年度追加取組）</u></p> <p>○具体的内容等：スポーツトレーナーを希望する学生を対象に、トヨタ自動車ラグビー部への長期インターンシップを実施。</p> <p>○期間：1年程度</p> <p>○実施体制（主担当）：中京大学（トヨタ自動車と覚書を取り交わす）</p>	2名以上参加/年

④ 健康意識の醸成

目標④		地域住民の健康意識を高める
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>摂食嚥下障害予防のためのつばめ体操普及活動実施</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：つばめ体操及び摂食嚥下障害リスク評価尺度パンフレットの普及。</p> <p>○実施時期・期間等：本学教員にて毎年2月下旬に実施予定としている。</p> <p>○目標等：地域高齢者の摂食嚥下障害の予防。</p> <p>○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学</p>	1回以上/年
2	<p><u>ブラジル人学校における身体測定の実施</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：ブラジル人学校に通う児童の身体測定（身長・体重等）を行う。</p> <p>○実施時期・期間等：本学教員にて毎年7月～9月、ブラジル人学校にて実施予定している。</p> <p>○目標等：身体計測値を経年的に記録できる用紙（冊子）の作成。</p> <p>○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学</p>	1回以上/年
3	<p><u>体育館、運動場等の施設利用の促進による、地域住民の健康意識の向上</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：体育館・運動場等の施設利用を地域住民に促すことで、積極的に運動等を行っていただき、健康の促進及び健康に対する意識を高める。</p> <p>○実施時期・期間等：長期休暇以外施設の利用可。</p> <p>○目標等：年間100件以上の利用促進。</p> <p>○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学</p>	100件以上利用促進/年

⑤ 防災意識の醸成

目標⑤		学生・地域住民の防災意識を高め、災害発生時に備える
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>学生消防団による防災活動を通じた地域貢献</u></p> <p>○具体的内容等：消防団 1 日体験入団、大規模テロ対策訓練、消防出初式、学生消防団活動報告会、学生交流シンポジウム、消防団観閲式、規律訓練、豊田市消防操法大会等</p> <p>○実施体制（主担当）：愛知工業大学、中京大学</p>	学生 50 名以上が参加／年
2	<p><u>大学祭での消防団入団促進のための PR 活動を実施</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市消防署に大学祭の屋外ブースを1つ貸し出し、豊田市消防署員が、学生や大学祭来客者に消防の PR 活動を行う。</p> <p>○実施体制（主担当）：中京大学</p>	1 回／年
3	<p><u>大規模災害を想定し、災害発生時には相互協力を行うための定期的な協議の実施</u></p> <p>○具体的内容等：大規模災害を想定し、災害発生時には互いに協力して市民、学生の生命を守る活動をするための定期的な話し合いの場を設ける（プラットフォーム運営会議にて実施）。例えば、地震、台風等の災害時における避難場所、防災備蓄品等について、具体的な話し合いを行う。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等</p>	2 回以上／年
4	<p><u>共同の防災教育プログラムを実施（平成 30 年度追加取組）</u></p> <p>○具体的内容等：キャリアアップを目的とする「防災マイスター養成講座」（履修証明プログラム）を共同で実施する。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学、日本赤十字豊田看護大学</p>	6 回以上／年

⑥ 環境教育の推進

目標⑥		地域環境の改善を促進する
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>環境美化活動の実施</u></p> <p>○具体的内容等：本校最寄り駅から本校周辺地域の環境美化活動（清掃活動）を実施する。</p> <p>○実施方針等：学生及び教職員により実施</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	5 回／年
2	<p><u>エネルギーの地産地消に向けた取組み</u></p> <p>○具体的内容等：エネルギーの地産地消に向けた取組みとして、小規模水力発電装置を実際に豊田市山間地に設置し、地域住民のエネルギーの利用及び学生の環境教育を推進する取組み等を行</p>	2 日／年

う。 ○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	
-----------------------------	--

⑦ ボランティア活動の推進

目標⑦	授業形式によるボランティア教育と実際に現場で体を動かすボランティア活動を推進することにより、地域貢献意識を高める	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>「ボランティア活動論」の授業を開講することによる、ボランティア活動に関する教育の実施</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：ボランティア活動についての基礎的知識等を知り、学生自らがボランティア活動を通して地域や福祉について、多角的な視野からとらえなおす機会を持ち、社会性を育む。</p> <p>○実施時期・期間等：看護学科1年生後期開講予定</p> <p>○目標等：ボランティア活動についての基礎的知識等の習得及び学生自らがボランティア活動に参加することにより、地域や福祉について多角的な視野からとらえなおす機会を持たせる。また、地域におけるボランティア活動を通して、社会性をより育むことを目標としている。</p> <p>○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学</p>	1コマ/年
2	<p><u>学生が自治区主催の清掃活動やイベントにボランティアとして参加し、地域に根ざした活動や活性化に向けた取り組み</u></p> <p>○実施方針・具体的内容等：地域から学生団体にイベント等への参加依頼があった場合は積極的に参加を促す。吹奏楽部による障がい者福祉施設への訪問演奏（平成30年9月）等を実施する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	3回/年

⑧ 地域学習支援の推進（学校教育活動支援）

目標⑧	学生・教員・初等中等教育機関が一体となり、初等中等教育に対する教育活動支援を行う	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>高校生対象の職業意識を醸成するための出前授業・模擬授業や進学情報交換会を実施</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：看護をよく知ってもらい、将来、看護師として就職を希望する者を増やしたいため、進学情報交換会や模擬授業等を実施する。</p> <p>○実施時期・期間等：毎年6月中に実施予定としている。</p> <p>○目標等：年間1回以上の実施</p> <p>○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学</p>	1回以上/年

2	<u>豊田市教育委員会や小中学校教員と大学教員間の情報交換・意見交換</u> ○実施方針等：豊田市教育委員会との連携に関する覚書に基づき実施する。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	2 回程度／年
3	<u>豊田市教育委員会職員や小中学校教員を大学の授業への特別講師派遣</u> ○実施方針等：豊田市教育委員会との連携に関する覚書に基づき実施する。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	1 回／年
4	<u>小中学校に対して、大学生を派遣する授業支援</u> ○実施方針等：豊田市教育委員会との連携に関する覚書に基づき実施する。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	1 回以上／年
5	<u>小中学生向け出前授業、理科教室及び豊田市と連携した「とよたサイエンスクラブ」の講座を開催</u> ○具体的内容・時期等：出前授業リストを4月に市内小中学校への郵送及びウェブ公開等により周知し、随時実施する予定。 実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	20 講座／年
6	<u>図書館への英文多読・多聴の普及活動</u> ○具体的内容等：地域の図書館において英文多読・多聴の紹介、体験等を実施する。 ○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	6 講座／年
7	<u>豊田市の中山間地域の一つである笹戸地区において、地元自治会の協力を得て、「ドミタウン」プロジェクトを学生が中心となり実施。また、豊田市街地の小学生を集め、セカンドスクールを実施</u> ○具体的内容等：小学生を対象とした稲刈り等のイベントを開催する。 ○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	自治区との共同イベント 3 回／年 セカンドスクール 1 泊 2 日×2 回／年

⑨ ものづくり事業の更なる展開

目標⑨	地域発イノベーションを創出し、地域産業の進展に寄与する	
No	取組内容	活動指標
1	<u>新技術・新産業創出支援セミナー・イベントの開催</u> ○具体的内容等：例えば、IoT等の新技術・新産業創出支援に関するセミナー・イベント等を開催する。 ○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	5 件以上／年

2	<p><u>製造技術者育成講座の開催</u></p> <p>○具体的内容等：「機械製図の基礎講座」等の製造技術者育成のための講座を開催する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	5 件以上／年
3	<p><u>学生が中心となって、小型自動車「コムス」を用いた新たな技術開発</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：当初は学生を中心とした取組を目指したが、高機能な遠隔操縦付き自動走行車の実現を目指したことから、大学全体の取組とし、教員が中心となり、所属する学生と一緒に取組むプロジェクトと位置付け、年間を通じて活動する方針である。</p> <p>○実施体制（主担当）：愛知工業大学</p>	約 50 名の学生にて 技術開発を行う
4	<p><u>学生と技術者による「エンジニア養成プログラム」等を開講</u></p> <p>○取組方針・具体的内容等：学生と現役地元企業技術者との混成チームによる「エンジニアの養成プログラム」等を1年間（4月～3月）にわたり開講予定である。</p> <p>○目標等：実践的な課題研究に取り組むことで、ものづくりの一連の工程を一通観的に見通すことのできる創造力豊かなリーダー技術者の養成を目指す。</p> <p>実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	1 講座／年
5	<p><u>地元産業界と大学等による共同研究・施設の共同利用（平成30年度追加取組）</u></p> <p>○具体的内容等：競泳選手の練習支援のための LED ライトによるペースメーカーを地元産業界と複数大学等が共同研究開発及び施設を共同利用する。（研究テーマは「水泳トレーニング中におけるペース認識可能な LED 点滅制御システムの構築」）</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田市役所、中京大学、豊田工業高等専門学校</p>	平成 31 年度に研究 報告をまとめる

⑩ スポーツ活動の促進

目標⑩	地域の子供達を中心に平成 32（2020）年開催の東京オリンピックや平成 38（2026）年開催のアジア大会（名古屋開催）も見据え、地域住民のスポーツ活動を促進する	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>子どもの体力づくり教室</u></p> <p>○具体的内容等：陸上競技を中心とした子どもと保護者の体力養成教室を実施。本教室は、小学校低学年の子供を対象に、瞬発力・持久力等の基礎的運動能力の向上を目指したプログラムを実施する。</p>	4 回以上／年

	○実施体制（主担当）：中京大学	
2	<u>MIRAI へ繋ぐ夢の教室 in 豊田</u> ○取組方針・具体的内容等：トヨタ自動車、日本サッカー協会、豊田市、大学の産官学連携事業により、アスリートが小学校を訪れ、夢を持つ大切さ、努力、チームワークの必要性等を伝える。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	7 クラス以上開催／年
3	<u>豊田市スポーツ推進審議会での協議</u> ○具体的内容等：スポーツ推進会議を開催し、スポーツ委員会に関する検討、提言書の作成等を行う。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	3 回開催／年
4	<u>中京大学出前スポーツスクール</u> ○具体的内容・時期等：夏休みを利用した小学生対象（4 年生～6 年生）の出前スポーツ教室を実施 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	2 回実施／年
5	<u>豊田市のこどもの体力向上（平成 30 年度追加取組）</u> ○取組方針・具体的内容等：平成 30 年度豊田市地域スポーツ推進連携事業としてオリンピック等の優秀な人材の活用により、豊田市の子どもの体力向上を図る ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	・子どもスポーツフェスタ 2 回以上／年 ・合同練習会 2 回以上／年
6	<u>有力アスリートを市民が応援（平成 30 年度追加取組）</u> ○取組方針・具体的内容等：豊田市ゆかりの有力アスリートを「豊田市わがまちアスリート」に認定し、市民が一体となって応援する。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学	豊田市主催のイベント協力 1 件以上／年

⑪ 生涯学習の推進

目標⑪	高等教育機関と地域が一体となり生涯学習を推進する	
No	取組内容	活動指標
1	<u>地域住民に対する公開講座の実施</u> ○取組方針・具体的内容等：地域の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的に地域住民を対象とした公開講座を実施している。 ○実施時期・期間等：本学教員において、領域ごとに実施している。1 年を通し、約 7 回の実施を予定している。 ○目標等：年間 7 回以上の公開講座の開講。 ○実施体制（主担当）：豊田市、中京大学、日本赤十字豊田看護大学	7 回以上／年
2	<u>大学図書館の共同利用（地域住民への開放）</u> ○取組方針・具体的内容等：地域住民に開放し、知識を深めてもらう。	100 名以上利用／年

<p>○実施時期・期間等：長期休暇以外図書館の利用可。</p> <p>○目標等：年間 100 名以上の利用。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学、日本赤十字豊田看護大学</p>	
---	--

⑫ プラットフォーム形成組織の連携強化

目標⑫		豊田市と大学等間の連携を強化し、豊田市の高等教育を活性化する
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>プラットフォーム共同のFD・SDの実施</u></p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等</p>	1 回以上／年
2	<p><u>地元商工会議所への採用動向に関するヒアリング</u></p> <p>取組方針・具体的内容等：豊田市の地元企業等の採用動向について、豊田商工会議所に対して定期的にヒアリングを実施し、自己点検の際に反映させる。</p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市、中京大学</p>	ヒアリングの実施(1 回／年)
3	<p><u>プラットフォーム運営会議を定期的に開催し、中長期計画に係る企画立案や進捗状況の確認などを実施</u></p> <p>○取組方針等：平成 30 年度に産業界（一般社団法人ツーリズムとよた）が新規参画し、今後、定期的な協議に事務局として、出席予定である。</p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市、プラットフォーム形成全大学等、一般社団法人ツーリズムとよた</p>	4 回以上／年
4	<p><u>プラットフォーム大学等部会を定期的に開催し、大学等間の連携強化や取組に関する協議の実施</u></p> <p>○具体的内容等：プラットフォームを形成する全 4 大学等が集まり、プラットフォームの中長期計画の中でも特に大学間連携を必要とする取組の促進や新規の取組について年 2 回以上の協議を行う。</p> <p>○実施主体（主担当）：プラットフォーム形成全大学等</p>	2 回以上／年
5	<p><u>豊田市と大学との人事交流（平成 30 年度追加取組）</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市職員を大学等に派遣することで、連携を深め、プラットフォーム活動を促進する。 （次年度に向けて企画する。）</p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市、中京大学</p>	1 回／平成 31 年
6	<p><u>プラットフォーム形成大学等間の単位互換（平成 30 年度追加取組）</u></p> <p>○具体的内容等：以下の 3 大学が提供する単位互換可能な 33 科目について実施する。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学、中京大学、日本赤十字豊田看護大学</p>	20 科目以上／年
7	<p><u>共同の学生募集活動（平成 30 年度追加取組）</u></p>	・高校訪問 1 回以上／年

	<p>○具体的内容等：高校訪問、高校教員対象説明会等でプラットフォームの紹介及び各大学の入試情報の提供等の共同の学生募集活動を行う。また、プラットフォームの情報サイト（ホームページ）においても、各大学等の入試情報の紹介を行う。</p> <p>○実施主体（主担当）：プラットフォーム形成全大学等</p>	<p>・説明会 1 回／年</p>
--	--	-------------------

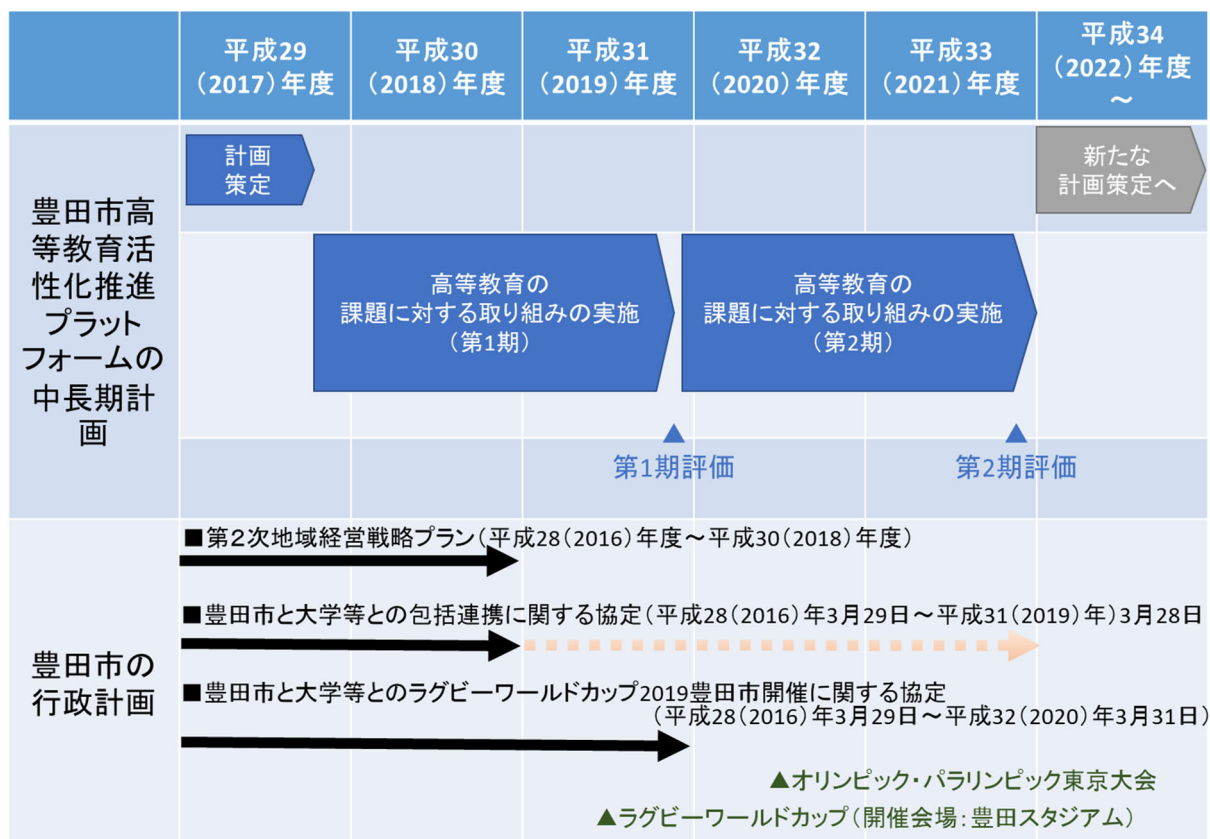
3. ロードマップと実施体制

3.1 ロードマップ

本プラットフォームの中長期計画は、図表 3-1 のロードマップに記載したように平成 29 (2017) 年度から平成 33 (2021) 年度までの 5 か年の計画とする。なお、課題に対する取組みの実施期間については、平成 31 (2019) 年度までを第 1 期、平成 32 (2020) 年度から平成 33 (2021) 年度までを第 2 期と定め、それぞれの実施期間終了時点において、実施内容の振り返りや計画の見直し、豊田市行政計画との調整などを行う。

また、平成 33 (2021) 年度の中長期計画終了後は、第 1 期、第 2 期評価の結果を踏まえ、新たな中長期計画の策定についてプラットフォームで検討する。

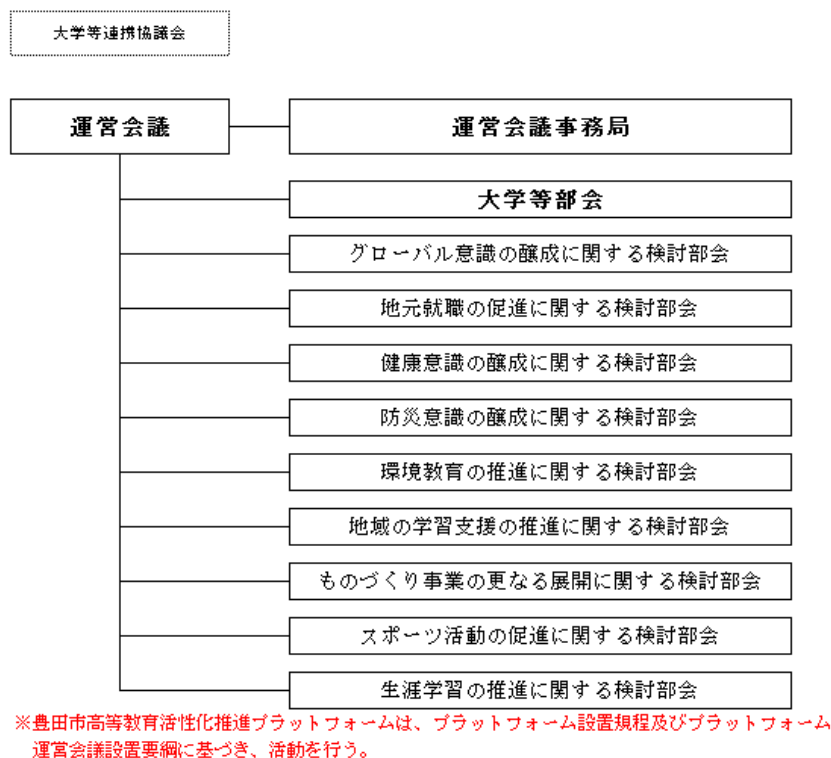
図表 3-1 豊田市高等教育活性化推進プラットフォームのロードマップ



3.2 実施体制

本プラットフォームにおける協議及び運営を下図のような体制で推進する。
 なお、ビジョン・目標として設定した 12 の課題のうち、各大学等の特色を活かして推進する 9 つの課題については、それぞれ検討部会を設け、幹事校が積極的に推進する。残りの 3 つの課題（郷土愛の醸成、ボランティア活動の推進、プラットフォーム形成組織の連携強化）は、共通課題のため個別の検討部会ではなく、運営会議にて推進する。

図表 3-2 実施体制図（平成 30 年度より体制図を一部変更し、以下の体制図とした。）



図表 3-3 主要組織名称と目的

組織名称	目的	委員・担当者
運営会議	・豊田市高等教育に関する中長期計画の策定、実施の推進	プラットフォーム全参画団体
運営会議事務局	・上記運営会議における協議の効率的且つ定期的な運営 (共同運営)	豊田市（経営戦略課） 愛知工業大学 中京大学 一般社団法人ツーリズムとよた
大学等部会	・プラットフォームを形成する大学等間の定期的な協議	愛知工業大学 中京大学 豊田工業高等専門学校 日本赤十字豊田看護大学
連携協議会	運営会議実施事項の報告	プラットフォーム全参画団体

図表 3-4 検討部会と幹事校

	愛知工業大学	中京大学	豊田工業高等専門学校	日本赤十字豊田看護大学	豊田市
グローバル意識の醸成に関する検討部会	○	●	○	○	○
地元就職の促進に関する検討部会	○	○	●	○	○
健康意識の醸成に関する検討部会	○	○	○	●	○
防災意識の醸成に関する検討部会	●	○	○	○	○
環境教育の推進に関する検討部会	○	○	●	○	○
地域の学習支援の推進に関する検討部会	○	○	●	○	○
ものづくり事業の更なる展開に関する検討部会	●	○	○	○	○
スポーツ活動の促進に関する検討部会	○	●	○	○	○
生涯学習の推進に関する検討部会	○	○	○	●	○

●：幹事校 ○：委員

[平成 30 年 9 月改定]

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム運営会議事務局（問合せ先）

〒466-8666

名古屋市昭和区八事本町 101-2

学校法人梅村学園 中京大学内

TEL : 052-835-7138

FAX : 052-835-8091